

第11回環境シンポジウム
「幸せをデザインする:コロナ後の社会」

りそなアジア・オセアニア財団
環境事業・選考委員長
総合地球環境学研究所・阿部健一



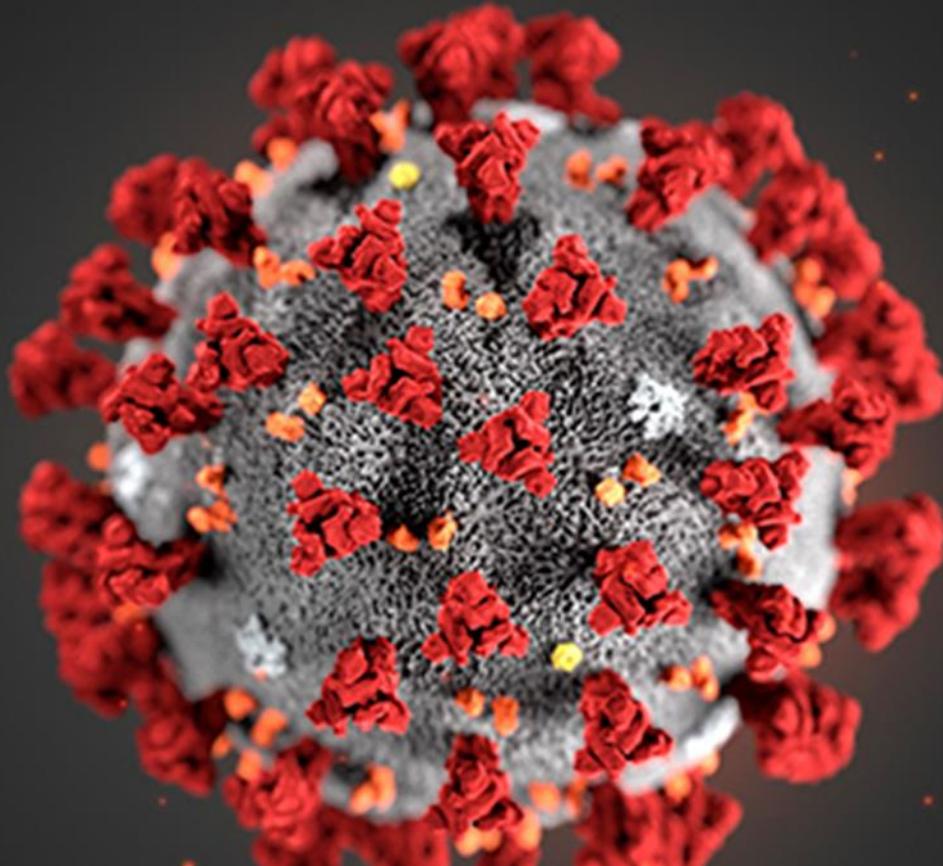
Research Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto, Japan

2020年春

およそ人類が知る限りもっとも「下等」な生物

新型コロナウイルスSARS-CoV-2 アメリカ疾病予防管理センター作成

提供:アフロ



Covid-19という環境問題

ブルーノ・ラトウール(1947～2022)フランスの哲学者
「奇妙な符合」

2020年春 四旬節の期間にあたった

「楽しみ」から離れ、沈思する期間

立ち止まって「日常」を振り返る

これまでの生活で良いのか

「一人一人が価値観を見直す」

「地球環境問題のリハーサル」



コロナ：「環境問題へのリハーサル」

環境問題 ⇒ 社会転換

BAU

新型コロナ時代 『新しい生活様式』

このままでは・・・

- (1) 新たな「新型コロナ」の発生を抑制する社会システム
パンデミック⇒すべての人々 (pandemos)
- (2) 何を捨て、何を守るか、を考える

変えるべきものと変えてはいけないもの

⇒新たな「豊かさ」を考える

幸せをデザインする



コロナ「後」の社会

「コロナ」: 新たな感染症は必ず発生する

スペイン風邪 (H1N1 新型インフルエンザウイルス)

1918~1920 死者5000万人以上

SARS (重症急性呼吸器症候群SARSコロナウイルス)

2003~2004

ほかにも



コロナ「後」の社会

「コロナ」: 新たな感染症は必ず発生する
鳥インフルエンザ

1878年 イタリア 1955年

コイヘルペス

1988年 イスラエル

2003年 日本

PCR検査・ワクチン開発



Credit: THINKSTOCK

「人間による環境改変が感染症の発生と拡大を引き起こす」ことが実証される(地球研プロジェクト)



コロナ「後」の社会

「コロナ」: 新たな感染症は必ず発生する
「社会」

特定のだれかが幸せになることを
前提にも目的にもしていない

「誰ひとり取り残されないように」

「ロシアのウクライナ侵攻」 ⇒ 「ガザ地区」

地球環境問題の克服と平和構築



「幸せをデザインする:コロナ後の社会」

基調講演1.

「コロナ後の社会を考える～環境福祉学の視点から～」

社会福祉法人恩賜財団 済生会 理事長 炭谷 茂 氏

基調講演2.

「コロナを超えて～いのち輝く社会へ」

大学院大学至善館 教授 枝廣 淳子 氏

基調講演3.

「A SUSTAINABLE FUTUREを実現するヤンマーのチャレンジ」

ヤンマーHD株式会社 取締役CSO 長田 志織 氏

財団事業紹介「アートワークショップでフィリピンの森を守る」

Cordillera Green Network アドバイザー 反町 眞理子 氏

